

凡例

- 年表は、慶應義塾大学アートセンターアーカイブ所管の中嶋興コレクションのうち、現在整理...
■年代が明らかにならないものは推定して記した。[ca.]はおよその年代を推定したときに、[post.]はある年代以降と推定したときに年を冒頭に記した。
■年代が複数の資料で異なる場合は、そのつと検討し、明らかにならなかった場合は、資料(特に印刷)において最も早い日付を優先し、異なる日付を付記した。
■年表は以下6つの系列【系】: 経歴【経】、受賞【授】、作品【作】、イベント【イ】、番組【節】、文献【文】に分類した。
■出来事/資料名「書誌情報」は、上記の各系列に分類された事件が起っている。
■本文において中嶋(中嶋)興の表記は中嶋興で統一し、欧文においてはKo(Kou) NakajimaをKo Nakajimaで統一した。
■経歴は生活者としての中嶋興についての記録を記した。中嶋興のアーティストとしての生と、生活者としての生は不可分のため、アーティストとしての情報が含まれる場合がある。
■作品名・番組名を(→)で、著誌名を(→)で、テレビ番組名とイベント名を「[]」(「」)の内側は原文・海外文献・ウェブサイト(→)で、()で付帯情報、[]で作者による注記を示した。
■受賞は受賞情報を記した。



- 作品には、ビデオアート、アニメーションを含む映像作品、インスタレーション、ホラーがあり、...
■作品には、上映/展覧会/講演/パフォーマンスが含まれ、いずれかに該当するものを「[出来事/資料名/書誌情報]」に、資料をもとに記した。情報はタイトル、会場、開催都市名、開催国(海外のみ)を記し、会場以下を付帯情報とした。海外で行われたイベント情報は、元にした資料での表記が日本語である場合、その表記に従い、国内イベントと同様の表記を用いた。
■番組は、中嶋興、伊東啓二「VIDEO EARTH K2」が作成したもの、あるいは中嶋興の出演したテレビ番組を記した。番組が複数ある場合は付帯情報として本数を付記した。
■文献は書籍、雑誌、展覧会カタログ、小冊子、クリップから情報を取った。邦文献は、筆名、テキストタイトル、書名、巻号巻次(巻・前編の)、出版社名、発行年を記し、展覧会、筆者名、テキストタイトル、書名、巻号巻次(巻・前編の)、出版社名、出版年を記し、各情報が未詳のものには邦文で記した。一冊全体を示す場合はテキストタイトルを、展覧会カタログなどのイベント印刷物の場合は著者名、テキストタイトルを省略した。中嶋が撮影した写真が掲載されている出版物を高く評価、基本的に文献として記し、撮影が不十分でない限り目録を記した。
■なるべく正確性を高めるために、記述が不完全だと判断された場合は、認められる限り、お気づきの点は是非ご指摘いただきたい。

Table with columns: No., Year, Series, Title, Author, Publisher, etc. Contains detailed entries for various works and events from 1961 to 2022.

Table with columns: Year, Title, Author, Publisher, etc. Contains detailed entries for various works and events from 2023 to 2024.

Table with columns: Year, Media Type, Title, Description, and Date. Contains a comprehensive list of Nakajima's works from 1980 to 2018.

中嶋典幸 | MY LIFE: The Time Line of Ko Nakajima
■編集 | 久保仁志 (慶應義塾大学アート・センター)、山形啓亮、常澤平
■編集協力 | 森山緑 (慶應義塾大学アート・センター)、長谷川崇、菅澤みほ、角田らる

MY LIFE
The Time Line of Ko Nakajima
中嶋典幸 | MY LIFE: The Time Line of Ko Nakajima
その中でも、父の妹の伯母が母の死のビデオ映像を見るや、
「興ちゃん、ごきんごとして、お母さんの死ぬところは撮って何になっとなってきやないか死んだら芸術お！と、彼女と父の死ねたところのビデオに撮るとはやめなれはれ！私一人見るにのびないかと」。もう一度と死ぬところを撮るのはやめなせーっ！とね！
と言って、涙でなかみかぬらした。
小生は言った。
「はい！おぼさん、母の死は1回しか撮れません！」

Table with columns: Year, Media Type, Title, Description, and Date. Contains a comprehensive list of Nakajima's works from 1995 to 2018.

中嶋典幸 | MY LIFE: The Time Line of Ko Nakajima
その中でも、父の妹の伯母が母の死のビデオ映像を見るや、
「興ちゃん、ごきんごとして、お母さんの死ぬところは撮って何になっとなってきやないか死んだら芸術お！と、彼女と父の死ねたところのビデオに撮るとはやめなれはれ！私一人見るにのびないかと」。もう一度と死ぬところを撮るのはやめなせーっ！とね！
と言って、涙でなかみかぬらした。
小生は言った。
「はい！おぼさん、母の死は1回しか撮れません！」